5 年後・10 年後を見据えた成長ビジネスと新事業の探索

～他社に先駆けてビジネスチャンスをつかむための情報収集・利活用の実践～

講　師　　（株）日本能率協会総合研究所　MDB 事業本部　エグゼクティブ・フェロー　菊池　健司　氏

日　時　　2027 年 1 月 8 日（金）　午後１時～５時
受講方法　　会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信（２週間、何度でもご視聴可）
会　場　　SSK セミナールーム　東京都港区西新橋２－６－２　ザイマックス西新橋ビル4F

［参加者限定特典］

「未来のビジネス環境と成長ビジネスを見据えるために知っておきたい最新ビジネス情報源リスト2027-2037」を進呈

［講義のポイント］

・今回も業種業界問わず、5年後10年後の成長ビジネス探索につながる情報収集・利活用ノウハウをふんだんにお届けいたします。特に、生成AI時代だからこそ知っておきたい「他社に差をつける」ための重要なビジネスノウハウをお伝えいたします。
・フィジカルAI元年と形容された2026年を改めて振り返ってみると、業界の枠を超えたビジネス連携や各社の新たな仕掛けが目立った1年となりました。当日、その象徴的な動きをオープニングでお伝えしたいと思います。
・少なくとも10年先位のビジネス環境を見据えながら、バックキャスト視点での既存ビジネス拡大、新規ビジネス探索、あるいはこれまでとは異なる売り先の検討を各社が血眼になって進めています。私自身、そうした光景を各社での支援業務を通じて、目の当たりにしてきました。
・2027年も「成長ビジネス（一部横這いビジネス）×自社ノウハウ×新規事業・新用途探索」を基軸とした事業探索トレンドは進んでいくでしょう。
・ただ自社ノウハウが薄い分野を埋めるためのM&Aトレンドはさらに激化するはずです。
・2026年7月、高市政権による「日本成長戦略」が公表されました。本戦略においては、17の成長戦略分野をはじめとした官民ロードマップが描かれており、その予算のかけ方を見ていても、日本の命運を左右する動きになることは想像に難くないです。当然、この17分野をターゲットにしていく企業は今後も増加していくでしょう。
・一方で、この国家戦略の17分野以外にも、日本のビジネスパーソンが見ておきたい新たな領域は多数存在しています。2027年以降の取組みに向けて、今後の新たなビジネスの狙い目、そして中長期視点でこれから注目しておきたい様々なビジネス、さらには意外な注目ビジネスもいくつかご紹介しながら、新年にふさわしく刺激的な内容でお届けしたいと考えています。
・2027年には、GDPにおいてインド、英国の後塵を拝する可能性が高いといった報道もありますが、日本の明るいビジネス環境を描けるような内容をお届けする予定です。
・他社よりも早い打ち手を検討するために、既存事業の拡大はもとより、新たな仕掛けを検討する際に大切な視点とは何か、2027年新春のこのタイミングでお届けいたします。
・5年後10年後のビジネスを見通すためには成長産業探索だけでは十分ではありません。
・未来を先読みする目線を大切にしながら、業界の枠を超え、他社の先を行く事業プランを描いていく必要があります。今の時代感であればなおさらです。
・大切なことは、常に未来を意識し、自身で未来を構想／創造していくことです。顧客も未来に対する明確な答えを持たないこの時代、顧客に対して「未来の絵姿」を見せることができる企業こそ、勝ち組になっていくと予想します。
・恒例とはなりますが、意外に学ぶ機会がない「ビジネスで成功するための情報収集手法」について、生成AI時代だからこそ知っておきたい考え方もお伝えいたします。

［重点講義内容］

気がつけば 2027 年のスタートです。「フィジカル AI 元年」と形容された 2026 年、世界中でヒューマノイド（人型ロボット）の活用が進みはじめ、製造現場、物流現場等に大きな影響を与えています。オフィス部門に影響を及ぼすのはもはや時間の問題でしょう。労働力不足との兼ね合いはどうなっていくのか、未来のビジネス環境を考える上で、とても気になるところです。日本では、高市政権による一丁目一番地の政策である「日本成長戦略」がまとまり、新たな国家戦略として、17 の成長分野にフォーカスした官民ロードマップをはじめ、「攻め」の戦略が公表されています。皆様が注目しているビジネスも多く存在していると思います。もちろん、今回の 17 分野に限らず、狙っていきたい未来の注目分野が他にも数多く存在しています。様々な情報に目を向けていくことで、多くの可能性を見出すことができる時代を私たちは迎えています。

これから重要なことは、従来の考え方に捉われるがあまり、自ら新たなビジネスの可能性を狭めてしまうことをいかに避けることができるか…だと考えます。是非、皆様と共に、日本の明るい未来を考える場にできればと思います。既に、世界各地で新たなビジネスが誕生し、注目すべき事象が数多く登場してきています。スタートアップトレンドはもちろんのこと、ディスラプター（未来のプラットフォーマー）の動きを見ていても、5 年後 10 年後の世の中の様相は大きく様変わりしていくでしょう。信じられない勢いで業績を拡大しているとんでもない可能性を秘めた企業も登場しており、時代が大きく動いていきます…

生成 AI においては、世界中でのテクノロジーの進化合戦、投資合戦が活況を呈しています。いずれプラットフォームが集約されていくと思われますが、2026 年時点ではまさに秒進秒歩での開発合戦が進み、日替わりで主役が入れ替わるような事象すら起こっています。「未来」の顧客の動きやビジネスシーンをどう捉えることができるか… 大企業からスタートアップに至るまで、新たなビジネス探索活動にまさに虎視眈々です。私自身、長年に渡り、数多くの企業において未来のビジネスリーダーや企業役員の方に対して、「未来洞察」の考え方をワークショップや研修・セミナーを通じて、日々お伝えしていますが、その反応を見ていても、大げさではなく、未来のビジネス環境の「予見・洞察力」は、生成 AI 時代において、企業の優勝劣敗を決めていくと確信しています。既存ビジネスの拡大はもとより、新たな仕掛けの創出のためには、より「視野」を拡げ、「視点」を変え、「視座」を高めていく必要があります。

2027 年は、業界再編拡大が1つの大きなテーマとなりますが、業界再編は「時代の主役」を変えていきます。シナリオをいくつか想定しながら、社会像の変化、顧客の変化、需要の変化、企業像の変化、消費者像の変化を読み解いていく必要があります。今回のセミナーでは、2027 年年頭にあたり、生成 AI 時代だからこそ知っておきたい「未来洞察」の考え方をしっかりとお伝えしながら、5 年後 10 年後、さらにその先のビジネスチャンスについて、できる限りお伝えしたいと考えています。ICT 関連企業の皆様はもちろん、様々な業界の新規事業責任者／担当者、そして未来探索等に携わる経営者、マネジャー、戦略立案担当者、R&D 部門担当者様におかれましては、必ずやお役に立つ内容となっております。

1. 未来を見据える上で重要な最新注目調査トレンド

・2026 年の注目調査トレンドを振り返る～特に注目されたのは…　・順当な傾向そして意外な傾向とは…未来を読むための視点
・2027 年以降、皆様のビジネスシーンに影響を与える大きな要素とは…

2. 未来洞察のための最新ビジネス情報収集手法

・一次情報と二次情報の重要性を知る…これから重要なのは実は…　・顧客からの情報の引き出し方　・ある企業に学ぶ上手い「仕掛け」とは
・情報収集には意外に学ぶ機会がない確固たるセオリーが存在する　・情報収集で使える情報源の種類と特徴（文献・Web・データベース etc）
・BtoB／BtoC／BtoBtoC、製造業／サービス業、地域／世界それぞれの視点　・生成 AI の活用ポイント…特に意識しておきたいのは…
・生成 AI 時代に自ら情報を掴みにいくことの意義とは…　・他社と違う視点を有するために大切なこととは
・横軸を拡げるために、日々やっておきたいこと～人がやらないことに価値がある　・成長ビジネスにおける情報収集ケーススタディのご紹介

3. 5 年後 10 年後を見据える視点の育て方

・これから見ておきたい国策とは…　・自社を取り巻く「必ず起こること」を列挙しておく　・顧客も答えを有していない時代だからこそ、考えておきたいこと
・世界における注目成長戦略、テクノロジー戦略のポイント解説　・「川上」から世の中を把握する、クイックに頭の中に生け簀をつくる
・M&A、業界再編トレンドから生まれる新たな産業を予見してみる　・情報を結びつけて「次」を考え、さらにその「次」を妄想する
・国内外の注目スタートアップイベントのご紹介　・注目しておきたいディスラプター（未来のプラットフォーマー）の存在
・「妄想 M&A」のススメ　・異業種の変化を読み解くための考え方～知らない業界をなくす努力が重要な理由

4. 必見！これだけは知っておきたい注目ビジネスに関するポイント解説

・日本の明るいビジネスの兆しを捉えるために…　・世界が日本に注目するその理由を知る
・5 年後 10 年後、さらにその先に向けて…注目ビジネスに関するポイント解説
・世界の急成長企業そして評価されるスタートアップに学ぶ「次に来る」ビジネスの捉え方
・「テクノロジー」と「市場」はまさに両輪　・最近、企業役員の方からよく聞くフレーズとは…　・厳しい時代だからこそ…改めて日本の勝ち筋を考えてみる

5. 5 年後 10 年後を捉えるために知っておきたい最新ビジネス情報源のご紹介

・未来洞察、新ビジネス探索、これからの勝ち筋を掴むために知っておきたい必読書
・青田買い！必見の海外テック系サイトとは、そして見ておきたい「注目人」は？　・バリューが高いお勧め会員制メルマガ、会員制ニュースソース
・新規事業担当者向け国内・海外の Web サイト、商用データベース、ニュースアプリ

6. 質疑応答／名刺交換

ＰＲＯＦＩＬＥ　菊池　健司（きくち　けんじ）氏

1990 年　日本能率協会総合研究所入社、マーケティング・データ・バンク（MDB）配属。外資系金融機関での勤務を経て、現在に至る。MDB においては、民間企業、官公庁、独立行政法人、大学等からの要請に応じ、公開情報を中心とした情報提供業務に長年携わる。現在は、リサーチ力を基盤とした企業の未来戦略・新規事業策定の支援を中心に、情報収集・活用手法解説セミナー・研修、未来洞察手法研修、特定ビジネスに関する将来トレンド解説、未来人材育成（役員研修～新人研修まで広く）等を実施しており、日々顧客の未来づくりに伴走している。2024 年 11 月より、ラジオ NIKKEI「グローバル・ビジネス研究所」（毎週木曜日 12:00～）にパーソナリティとして出演中。URL: https://www.radionikkei.jp/globiz/ 2023 年 10 月より、FM 軽井沢「軽井沢ラジオ大学～菊池健司の 5min.グローバル経営学」（毎週月～金 19:53～）に出演中。URL: https://www.karuizawaradio.university/bn-5min.html

【主な支援実績】・自動車関連 A 社：研究部門向け未来予測プロジェクト。・食品関連 B 社：食の未来探索プロジェクト。・化学関連 C 社：未来のヘルスケアビジネス探索プロジェクト。・機械関連 D 社：未来のビジネス環境に関する定例勉強会。・ICT 関連 E 社：顧客の未来サービス探索プロジェクト。・金融関連 F 社：役員／次世代リーダー向け未来洞察研修。他多数。【セミナー・研修等】日経 BP、日本経済新聞社、東洋経済新報社、日本能率協会、日本能率協会マネジメントセンター、新社会システム総合研究所、R&D 支援センター、サイエンス＆テクノロジー、東京都経営人財育成スクール NEXT、プロネクサス、日本私立大学連盟他多数。【主な著書・論文】「Learning Design」（日本能率協会マネジメントセンター）※書籍に学ぶビジネストレンド連載。「今週の読まぬは損」（日本能率協会マネジメントセンター）※Web 連載中 URL: https://jhclub.jmam.co.jp/acv 「未来予測による研究開発テーマの決め方」「SDGs の経営・事業戦略への導入と研究開発テーマの発掘、進め方」（技術情報協会）他多数。

●受　講　料	各受講方法　1名につき　34，650円（税込） 同一のお申込フォームよりお申込の場合、2人目以降　27，500円（税込） ※会場又はライブ配信受講者様は、追加料金11，000円（税込）でアーカイブ配信を承ります。
●お申込方法	二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。 折り返し受講証、請求書、会場地図（会場受講のみ）をメール（PDF）にてお送りいたします。 お申込み後、3営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。 （セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参ください） ※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。 その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
●お支払方法	請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。（遅れる場合はご相談下さい）

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。
可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信ください。

■ライブ配信について

＜1＞Zoom にてライブ配信致します。　＜2＞お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までにお送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加ください。

■アーカイブ配信について

＜1＞開催日より3～5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。　＜2＞お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用URLをお送り致します。　＜3＞動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

1月8日（金）	「5-10 年後の成長ビジネスと新事業探索」	申込日　月　日

貴 社 名			
所 在 地	〒		

参加希望の受講方法を選び□に✔をお入れ下さい。（アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。）

□ 会場受講　□ ライブ配信　□ アーカイブ配信

フリカ゛ナ 氏　名		所属部署・役職	
ＴＥＬ	（　　）　－	ＦＡＸ	（　　）　－
Ｅ－mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。		

参加希望の受講方法を選び□に✔をお入れ下さい。（アーカイブ配の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。）

□ 会場受講　□ ライブ配信　□ アーカイブ配信

フリカ゛ナ 氏　名		所属部署・役職	
ＴＥＬ	（　　）　－	ＦＡＸ	（　　）　－
Ｅ－mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。		

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。　K

通信欄	

●E-mail アドレス登録受付＆ご紹介キャンペーン実施中〔Amazon ギフト券（500円）を進呈いたします〕

□セミナーへのお申込みではなく、メール配信登録のみの方は左記へ✔を入れて下さい。
※携帯アドレス、フリーメールアドレスは登録対象外となっております。
※メール配信登録をご希望の方をご紹介下さい！ご紹介いただいた方には Amazon ギフト券（500円）を進呈させていただきます。
※上記お申込フォームに、ご登録情報（貴社名・所在地・氏名・所属部署・役職・メールアドレス）をご記入下さい。

詳細・お申込はこちら↓

27006

■主催（お申込み・お問い合せ先）　株式会社　新社会システム総合研究所
お申込み受付　FAX　０３－５５３２－８８５１
〒105-0003　東京都港区西新橋２－６－２　ザイマックス西新橋ビル4階
Tel:03-5532-8850／E-mail：info@ssk21.co.jp／URL：https://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。　２７００６－M